

事前評価書

年度	R2
整理番号	

事業名・路線名等		道路改良事業 <small>トンネルハサマ</small> 一般県道龍原挾間線 <small>トンネル</small> 龍原2工区	事業主体	大分県
所在地		由布市庄内町龍原		
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道路幅員狭小、離合困難の解消(アクセス機能の向上) ・龍原トンネルの老朽化(建設105年)、高さ制限(3.2m)の解消。 ・生活道路としての、地域住民の利便性向上。 		
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=742m、W=5.5(7.0)m</p> <p>【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=30km/h 【計画交通量】 1,018台/日(R12)</p> <p>【現況幅員・交通量】 W=5.0m(最小2.5m) 交通量 1,044台/日 (H22センサス)</p>		
	事業費	C=570百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から8年(令和9年度)		
	事業段階毎の実施計画	<p>1年目 地形測量・路線測量 道路詳細設計</p> <p>2年目 地質調査 函渠工設計</p> <p>3年目 用地測量</p> <p>4年目 用地買収 道路工事</p> <p>5年目 道路工事</p> <p>6年目 道路工事</p> <p>7年目 道路工事</p> <p>8年目 道路工事</p>		
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小により通行車両の走行性が低く(車道幅員2.5~5.0m)、車両同士のすれ違いの困難。 ・龍原トンネルの老朽化(建設105年)、高さ制限(3.2m)の解消 ・由布市庄内町龍原地区の地区住民の生活道路 		
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小の解消による通行車両の走行性、安全性の向上。 ・龍原トンネルの高さ制限の解消 ・地域住民の生活道路の利便性向上 		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	幅員狭小区間の解消(一次改築)であり、防災面・交通安全の観点からも評価(参考B/C≒0.25)		
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法、道路構造令、道路橋示方書に適合した工法を採用 ・複数案の比較検討を行ない、最も経済的な現道拡幅案を採用。 		
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・現道を極力有効活用することでコスト縮減を図る。 ・アスファルト、砕石は再生材を利用。 		
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅であり、地形の改変による影響は小さい。 ・低騒音、低振動対応の建設機械の使用により、生活環境に配慮する。 ・発生土は現場内流用、残土については他の公共工事へ流用する。 		
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年由布市及び東庄内地区開発促進協議会から要望書提出、期成会が組織され事業促進要望あり。 ・由布市としても、大分県議会土木建築委員会への市町村要望として毎年要望されており、協力体制は整っている。 		
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」、「大分県長期道路整備計画『おおいたの道構想2015』」に基づき事業実施 ・道路法第15条に基づき、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とすべく事業を実施 		
	事業の特殊性	<ul style="list-style-type: none"> ・施工時期、期間の制限: 現道タッチを考慮する必要があるため、段階的になるので迂回等の検討を行う。 ・技術的難易度: 現トンネル区間は開削して現場打ち函渠を計画しており、技術的難易度は低い。 		
対応方針		<ul style="list-style-type: none"> ・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。 		

事業箇所位置図

